

クラス番号	904	担当教員名	奥田 亜由子
テーマ	利用者理解と高齢者への支援方法・コミュニケーション技術を高める		
ゼミナール概要			
<p>目的、内容、方法等：</p> <p>社会福祉の歴史の中でも障がい者や児童と比べ、高齢者福祉の実践は比較的浅いものの、老人福祉法に加えて、2000年の介護保険制度の創設により全国で介護保険施設、在宅サービスが整っていきました。社会福祉法人や医療法人に限らず、株式会社、NPO等さまざまな事業主が介護保険サービスを展開し、民間の活力が導入され、その複雑な資源、サービス等を含むケアマネジメントを担当する専門の相談員としてケアマネジャー（介護支援専門員）が必要になりました。現在、社会福祉士を取得しているケアマネジャーも活躍し、ますます必要とされてきています。</p> <p>さらに、平成18年度には、新たに創設された地域包括支援センターにも社会福祉士が配置されることになり、大学卒業後の社会福祉士として採用される職種の一つになりました。</p> <p>相談援助職のプロである社会福祉士を目指す学生として、『利用者理解と高齢者への支援方法』をどう考え、実践していくのかをこのゼミではていねいに学んでいきます。さまざまな制度やサービスが存在する環境の中で生活する利用者個々のニーズに応じたケアマネジメントを展開するために、必要な視点や技術は何なのかを学んでいきましょう。</p> <p>高齢者福祉、介護保険、ケアマネジャーに関する参考文献や資料を検索し、読みこなすことにより、議論できるテーマをもとにレジュメを作成し、プレゼンテーションを実施していきます。各自または、グループでの学習をすすめ、研究方法の基礎を身に付け、調査研究した結果をレポートにまとめ、報告書として提出します。3年時の専門演習につなげられるように自分で学ぶ力を身につけます。</p> <p>授業計画：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険制度を学び、レポートにまとめ、プレゼンテーションする。 各自、住んでいる地域に行き、介護保険のサービスや施設、地域包括について調べてくる。 2. コミュニケーション能力を高めるための、ロールプレイを実施する。 3. 現場体験ボランティア時を活用し、相談員、ケアワーカー、ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等にインタビュー調査を実施し、仮説を検証する。 4. 自分の祖父母等にライフヒストリー（生活歴）をインタビューし、高齢者の人生や生活の理解を深める。質問力、傾聴力を高める。 5. 上記の調査研究の報告書を作成し、プレゼンテーションする。 			
担当教員からのメッセージ			
	<p>相談員になりたい人、高齢者ケア、障がい者の支援に関心がある人、まだ将来は定まっていなくても、人を支援する仕事に就きたいと思っている人、一緒に基礎的な力を身に付けましょう。自分の将来に向けて、いろんな事柄に疑問を持ち、自ら調べる姿勢を身に付けましょう。</p> <p>基本的な態度、ゼミを休まないこと、報告・連絡・相談を積極的にしましょう。</p> <p>3年次から始まる専門演習、実習の事前学習となり、将来の仕事の夢を考え、社会福祉士を目指すことにつながるように取り組みしましょう。それぞれが役割を決め、自分たちで取り組みたいことやクラスでの交流、学外の活動なども計画し、楽しい1年を計画しましょう。</p>		